

心の ともしび



暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう



神の計らいは限りなく……

ふるかわとしまさ
古川利雅 神父

十一月は、カトリック教会は死者の月。教会の暦では一年の最後の月となります。

初めに聖人を祝い、次に亡くなられた全ての方々を思い起こし、永遠の安息を祈り求めます。

私たちの人生は、この世に生を受けた時から死に向かう歩み「旅路」と言えるのではないのでしょうか。

ある日曜の夜、ミサが終わって戸締りをしていた時、近くにお住まいのお嬢様とお母様が来られました。お母様が高齢のため、なかなか教会に来ることができなかつたけれど、今日は散歩中に教会の灯りが目に入ったので訪れたとのこと。久しぶりと伺って、再び聖堂の電気を点けてお迎えし、洗礼を受けたカトリック信徒がいたたく聖別されたパン、ご聖体をお勧めしたところ、二人とも喜んで受けられました。

翌朝、仕事に出かけたお嬢様から電話があり、自宅にいる母と電話連絡が取れないので祈って欲しいと願われて、祈っていました。その後、帰天されたご連絡が入りました。お母様は、デイサービスに行く準備をし、

お嬢様が出動した後、神様に召された様です。

聖体は「旅路の糧」と言われ、キリスト者が人生の旅路を歩むために必要な「糧」です。決定的にキリストと出会う死の時にこそ、「旅路の糧」ご聖体で強められる必要があると聞いていましたが、実際に神が自分の許に呼ばれる方、教会に来れなかつた方のために「旅路の糧」ご聖体をお与えになり、ご自分のところにお呼びになられたという、思い出深い出来事が思い出されました。

神の計らいは限りなく……。神は私たちの人生に深く関わり、ともに歩んでくださいます。

慈しみ深い神が、私たちの人生の「旅路」に同伴して下さり、守って下さいますように。神の恵みと祝福が豊かにありますように。



ホームページ (<https://www.tomoshihi.or.jp>)



【ラジオ番組「心のともしび」】 月曜日から土曜日までの毎朝、全国ネットで放送中！

各方面で活躍中の執筆者約30名が、その月のテーマに沿って書き下ろしたお話をナレーターの朗読でお届けする番組です。放送されたお話の中から毎月6篇を選んで機関紙に掲載しています。ぜひ、他の方のお話もお聴きください。パソコンやスマートフォンでラジオが聴けるアプリ「ラジコ」のタイムフリーなら過去1週間以内に放送された番組が無料でお聴きいただけます。 ※パソコンの方は「radiko.jp」にアクセスしてください。

スマートフォンの方はアプリをダウンロードしてください。 ➡



放送時間やラジコなどのお問い合わせは、〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル
心のともしび運動YBU本部 (電話:075-211-9341 FAX:075-211-9343) または、ホームページをご覧ください。